

玄海原子力発電所3号機のMOX燃料に係る 設計及び工事計画認可申請の概要

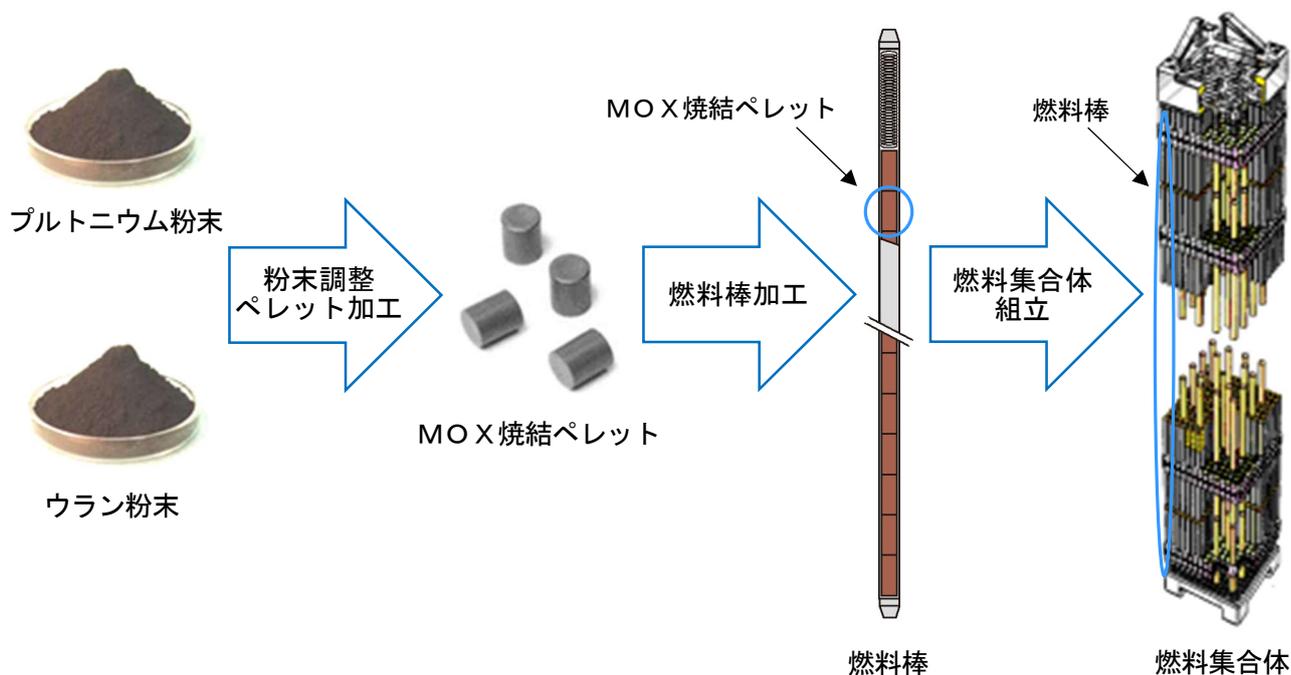
1. 申請概要

2020年4月1日以降（原子炉等規制法の一部改正以降）、燃料を初めて加工する際は、設計及び工事計画認可申請が必要となったため、本日、玄海原子力発電所3号機で使用するMOX燃料について、設計及び工事計画認可申請を行いました。

なお、今回申請したMOX燃料の主要な構造や材料については、現在、玄海原子力発電所3号機で使用しているMOX燃料から変更ありません。

燃料材の種類	MOX焼結ペレット
初期濃縮度	プルトニウム含有率： 約4.1wt%濃縮ウラン相当以下（燃料体平均）
燃料集合体最高燃焼度	45,000MWd/t
燃料体の構造	17行17列

2. MOX燃料加工の流れ（海外の燃料加工工場で実施）



3. MOX燃料加工期間

2023年度下期～2025年度下期